



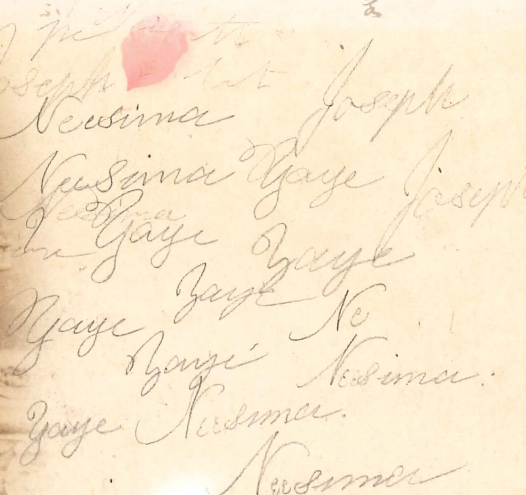
ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.

家訓

源容保書

一、大君と義一、大切可侍奉不可別圖、自負重馬並
 一、或備不可不、進士可若者上、不可不立
 一、可敬見受身
 一、婦人女子之言一切不可聞
 一、可重主長法
 一、家中可初裁裁
 一、不可行指水端
 一、面不可依怙其真
 一、進士不可取便碎毀傷者
 一、賞符先、不可不奉、若首出位者可取裁之
 一、不可使進侍者若人、善也
 一、政事不可利、若利、金、不可不私、拒人言
 一、道不可、以、之、能、在、身、不可不、忘
 一、花法者不可有
 一、社倉、為、水、利、也、藏、蓄、可、茂、必、滿、之、不可、使、用、之
 一、一、夫、其、長、也、好、進、樂、以、進、進、士、夫、其、所、別、何、面、目、哉、
 一、不、領、土、地、必、上、表、可、整、居
 一、在、工、作、也、堅、相、守、以、信、可、以、中、傳、國、職、也
 宣統元年四月十日 會津中將



2013年NHK大河ドラマ 特別展

新島八重

激動の時代を力強く生きた
 新島八重と襄、
 会津人の“絆”の物語

ゆかりの品々約200点 八重が愛した故郷 福島へ



山本覚馬

2013年5月17日金 - 7月3日水

9:30 - 17:00 (入館は16:30まで) [休館日: 6月3日 6月10日]

※5月17日 入場は11:00からになります。

八重と襄が暮らした
 新島旧邸の応接間を復元



- 主催 福島県立博物館、NHK福島放送局、NHKプラネット東北
- 協賛 日本写真印刷、ハウス食品、三井住友海上
- 協力 同志社大学

会場 福島県立博物館 [企画展示室 部門展示室]

〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25 TEL 0242-28-6000 FAX 0242-28-5986
<http://www.general-museum.fks.ed.jp>

これまでも、これからも NHK TV 60+

八重の桜

平成25年(2013)NHK大河ドラマ「八重の桜」の主人公は、福島・会津出身の新島八重です。

弘化2年(1845)、会津藩の砲術師範であった山本権八・佐久の子として生まれた八重は、藩校日新館の教科書である「日新館童子訓」を父から習い、7歳の頃には暗誦するまでになりました。

慶応4年(1868)に起こった戊辰戦争では鶴ヶ城での籠城戦に参加し、銃を手にとりて男性たちと共に新政府軍と戦いましたが、会津藩は敗れてしまいます。明治4年(1871)、兄の山本覚馬を頼って京都

に移り、京都最初の女学校「女紅場」の教師を務める傍らで、英語や聖書を学びました。

明治8年(1875)、アメリカ帰りで同志社の創立者となる新島襄と出会い、翌年に結婚します。気高く毅然と立ち振る舞う八重の生き方を、襄は「ハンサム」と評しました。

襄が亡くなった後は社会奉仕へと取り組み、日清、日露戦争の際には八重は故郷の魂を胸に篤志看護婦として果敢に行動していきます——。

本展では、NHK大河ドラマと連動して、新島八重ゆかりの品々や同時代の資料を紹介するとともに、八重と襄が暮らした新島旧邸の応接間を会場に復元します。江戸・明治・大正・昭和という4つの時代を力強く生きた新島八重と戊辰戦争の敗戦から立ち上がった人々の姿を通して、復興へのメッセージを伝える展覧会です。



1.肖像写真「軍装の新島八重」明治34年(1901)撮影 同志社大学同志社史資料センター蔵/2.大須賀清光「蛤御門の変図屏風」江戸時代 19世紀 会津若松市蔵/3.「孝明天皇御製」文久3年(1863) 個人蔵/4.松平容保使用漆器「江戸時代 妙国寺蔵」/5.「スペンサー」銃「幕末-明治時代 19世紀 栃木県立博物館蔵」/6.「奥羽越列藩同盟旗」慶応4年(1868) 宮坂考古館蔵/7.「斗南県川崎尚之助ヨリフライキストニ係ル広東米差銀一件書類」明治3年(1870)-明治6年(1873) 鶴岡市郷土資料館蔵/8.「ワッフル・ペーカ」同志社大学同志社史資料センター蔵/9.「殿六等宝冠章」明治39年(1906) 同志社大学同志社史資料センター蔵/10.長楽「赤茶碗 銘寿」大正14年(1925) 同志社大学茶道部蔵/11.新島八重筆書額「美德以為飾」昭和3年(1928) 福島県立養高等学校蔵 ※会期中に一部展示替えを行います。

2013年大河ドラマ特別展「八重の桜」関連講演会

描かれた幕末の会津藩

—追鳥狩圖・蛤御門の変図を読み解く—

5月29日(水) 14:00~15:45

講師：高橋 修 (茨城大学人文学部教授)
司会：古山 智行 (福島県立博物館 学芸員)

- 会場：福島県立博物館 講堂
- 各会とも入場無料・申込み不要
- 定員：200名
- ※満席になり次第、入場を制限させていただきます。

企画委員が語るNHK大河ドラマ特別展「八重の桜」1

6月12日(水) 14:00~15:45

<基調講演> 昭和三年と会津(30分)
講師：齋藤 慎一 (東京都江戸東京博物館 学芸員)

<シンポジウム> NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」の魅力(60分)

パネリスト：齋藤 慎一 (福島県立博物館 学芸員)
佐藤 洋一 (福島県立博物館 学芸員)
司会：高橋 充 (福島県立博物館 学芸員)

企画委員が語るNHK大河ドラマ特別展「八重の桜」2

6月26日(水) 14:00~15:45

<基調講演> 幕末京都の活力(30分)
講師：西山 剛 (京都府京都市文化博物館 学芸員)

<シンポジウム> 幕末・明治の京都-覚馬と襄、新選組-(60分)
パネリスト：小枝 弘和 (同志社大学同志社史資料センター 学芸員)

司会：古山 智行 (福島県立博物館 学芸員)

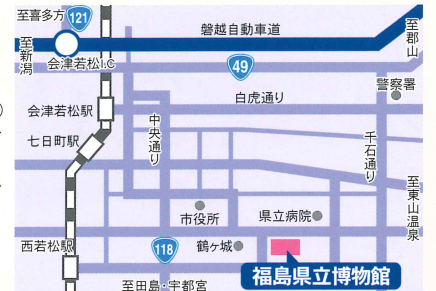
観覧料	特別展当日券	特別展早売券
一般・大学生	1,000円(800円)	800円
高校生	無料	—
小・中学生	無料	—

※特別展早売券は、平成25年4月2日(火)から5月16日(木)まで販売します。当館受付カウンターでのみ取り扱いです。※()内は、20名以上の団体料金です。※高校生以下は、特別展観覧料が無料です。※特別展の観覧者は、常設展の観覧料260円が210円となります。

高校生以下は無料!

【交通案内】

- JR 会津若松駅から約3km
- タクシーで約10分
- バス 1)まちなか周遊バス(ハイカラさん) ⇨ 鶴ヶ城三の丸口下車すぐ 2)まちなか周遊バス(あかべえ) ⇨ 鶴ヶ城三の丸口下車すぐ



音声ガイド(有料:1台500円)

大河ドラマ「八重の桜」で語りをつとめる草笛光子さんが、展覧会をナビゲートします。

NHK大河ドラマ「八重の桜」

放送時間 日曜日 総合テレビ……………午後8:00~ BSプレミアム……………午後6:00~ 土曜日 総合テレビ(再放送)…午後1:05~

出演/綾瀬はるか、西島秀俊、長谷川博己、綾野剛、西田敏行 他

作/山本むつみ
テーマ音楽/坂本龍一 音楽/中島ノブユキ
語り/草笛光子 題字/赤松陽構造

福島県立博物館

〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25 TEL 0242-28-6000 FAX 0242-28-5986
http://www.general-museum.fks.ed.jp

《表面図版》[上段]左から「会津軍記」(部分)明治9年(1876)「家訓」明治時代=2点とも福島県立博物館蔵/[中段]左から新島八重所蔵「会津若松関連写真」より「鶴ヶ城古写真」(部分)明治時代/肖像写真「新島襄と八重」(部分)明治9年(1876)撮影/「手芸品」(部分)明治時代=3点とも同志社大学同志社史資料センター蔵/[下段]左から「山本覚馬建白」(部分)明治2年(1869)写/中山泰輔「山本覚馬肖像画」(部分)昭和9年(1934)=2点とも同志社大学同志社史資料センター蔵 ※会期中に一部展示替えを行います。